

一般社団法人 日本生物物理学会  
平成 26 (2014) 年度第二期 事業報告  
(2014 年 5 月 1 日～2015 年 4 月 30 日)

目次

\*\*\*\*\*

1. 事業概要
2. 各事業詳細資料
  - 2-1. 学術誌・学術図書発行(定款第四条第 1 号)
  - 2-2. 学術・科学技術に関する研究発表会、講演会、セミナー等の開催(定款第四条第 2 号)
  - 2-3. 人材育成(定款第四条第 3 号)
  - 2-4. 研究業績と技術的実践の奨励と表彰(定款第四条第 4 号)
  - 2-5. 関連学術団体との連携及び協力(定款第四条第 5 号)
  - 2-6. 国際的な研究協力の推進(定款第四条第 6 号)
  - 2-7. 普及啓蒙活動
3. 付属明細
  - (付属明細 1) 処務詳細資料
    - ・ 総会・役員会等に関する事項
    - ・ 契約・入札・他に関する事項
  - (付属明細 2) 会員の異動状況
  - (付属明細 3) 事務局の現況(2015 年 4 月 30 日現在)

\*\*\*\*\*

1. 事業概要

主な活動は

- 1) 会員総会ワークショップの開催
- 2) BIOPHYSICS の国際情報発信力強化(科学研究費補助金)
- 3) BIOPHYSICS の名称変更
- 4) 20th International Biophysics Congress 開催立候補
- 5) 理事候補追加手続きの決定と細則の改定

である。以下にそれぞれを概観する。

#### 1) 会員総会ワークショップの開催

一般社団法人移行に伴い、これまで年会期間中に開催されていた総会の役割は6月に開催される社員総会に移ることとなった。そこで、これまで総会を開催していた時間を使い、全会員の興味を喚起できるシンポジウム「生物物理が拓く未来社会」を企画・開催した。

#### 2) BIOPHYSICS の国際情報発信力強化（科学研究費補助金）

日本学術振興会に申請した平成26年度科学研究費補助金（研究成果公開促進費）が採択された（単年度、350万円）。この補助金を活用し、海外から投稿された論文の掲載料免除、年会時以外の編集委員会の開催、編集委員長支援者の雇用、PubMed Central (PMC) への登載申請など、BIOPHYSICS 活性化のための取組を実施した。また、日本学術振興会に申請した平成27年度科学研究費補助金（研究成果公開促進費）が採択された（単年度、340万円）。

#### 3) BIOPHYSICS の名称変更

PubMed Central (PMC) への登載申請にあわせて、他誌との重複を避けるため、名称を「Biophysics and Physicobiology」に変更することを決定した。現在変更手続きを行っており、7月頃新名称へ移行予定である。

#### 4) 20th IUPAB International Biophysics Congress (2020年) 開催立候補

沖縄での開催を目指し、ワーキンググループを結成した。2014年8月3日～8月7日に開催にされた18th IUPAB International Biophysics Congress にて、招致活動（Japan Night、General Assembly でのプレゼンテーション）を行ったが、今回はBrazil・Rioが選出された。2023年の日本開催を目指し、引き続き活動することを決定した。

#### 5) 理事候補追加手続きの決定と細則の改定

新規事業のサポートや企業と大学のマッチング等の役割を担う理事を積極的に登用するための細則改定を行った。そして、企業勤務の会員を平成27・28年度理事候補に追加することを決定した。

## 2. 各事業詳細資料

2-1. 学術誌・学術図書の発行(定款第四条第1号関連)																	
2-1-1. 邦文誌「生物物理」	<p>・第54巻3号～6号・第55巻1号・2号を刊行した。(A4版・隔月刊)</p> <p>54巻3号 15記事70ページ            54巻4号 15記事69ページ            54巻5号 16記事60ページ            54巻6号 16記事60ページ            55巻1号 16記事78ページ            55巻2号 16記事60ページ</p> <p>【ダウンロード数(2014年5月～2015年4月)】</p> <table border="1" data-bbox="619 521 1294 674"> <thead> <tr> <th></th> <th>今期刊行号</th> <th>バックナンバー</th> <th>総計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>学会PDF版</td> <td>6539</td> <td>3170</td> <td>9709</td> </tr> <tr> <td>J-STAGE版</td> <td>12052</td> <td>71783</td> <td>83835</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>18591</td> <td>74953</td> <td>93544</td> </tr> </tbody> </table> <p>学会PDF版は、第47巻3号(2007年)以降の【冊子(号)】単位での掲載、            J-STAGE版は、第1巻第1号(1961年)以降の【記事】単位での掲載となっている。</p> <p>・第54巻はSupplement1-1(年会プログラム集:印刷体3500部)、            Supplement1-2(年会 予稿集:電子版のみ)も発行した。</p> <p>【冊子体購読数】            機関会員:51、購読(書店経由):62、購読会員:12(内名誉会員5)            上記に加え、賛助会員10、寄贈会員13にも送付している。</p> <p>・「タンパク質立体構造散歩」の掲載再開ならびに書籍化に向けての準備を行った。</p>		今期刊行号	バックナンバー	総計	学会PDF版	6539	3170	9709	J-STAGE版	12052	71783	83835	合計	18591	74953	93544
	今期刊行号	バックナンバー	総計														
学会PDF版	6539	3170	9709														
J-STAGE版	12052	71783	83835														
合計	18591	74953	93544														
2-1-2. 欧文誌「BIOPHYSICS」	<p>・Vol.10 12報、Vol.11 15報を刊行した。</p> <p>Vol.10(2014.4-12)            Regular Article 6            Review Article 4            Experimental Methods and Protocols 1            Hypotheses and Perspectives 1</p> <p>Vol.11(2015.1-4)            Regular Article 5            Review Article 7            Note 1            Experimental Methods and Protocols 2</p> <p>【ダウンロード数(2014年5月～2015年4月)】</p> <table border="1" data-bbox="619 1413 1118 1491"> <thead> <tr> <th>今期刊行号</th> <th>バックナンバー</th> <th>総計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>8406</td> <td>6246</td> <td>14652</td> </tr> </tbody> </table> <p>・平成26年度科学研究費補助金(研究成果公開促進費-国際情報発信強化)が採択(期間1年)されたため、以下を実施した。            1. 海外から投稿された論文の掲載料免除            2. 編集支援体制の強化(年会時以外の編集委員会の開催、編集業務支援者の雇用)            3. PMCへの登載申請</p> <p>・平成27年度科学研究費補助金(研究成果公開促進費-国際情報発信強化)に申請し、採択された(期間1年)。</p> <p>・他誌との重複を避けるため、名称を「Biophysics and Physicobiology」に変更することを決定した。(2015年7月頃変更予定)</p>	今期刊行号	バックナンバー	総計	8406	6246	14652										
今期刊行号	バックナンバー	総計															
8406	6246	14652															
2-1-3. 学会ホームページ	<p>・文部科学省「一家に1枚 動く! タンパク質」ポスターダウンロードページを開設した。            ・英語版PublicationsのページにApplications of Biophysicsページ(IUPAB Taskforceと連携)を開設した。</p>																

2-2. 学術・科学技術に関する研究発表会、講演会、セミナー等の開催(定款第四条第2号関連)	
2-2-1. 年会運営	<ul style="list-style-type: none"> <li>・以下の年会を開催した。 2014年第52回日本生物物理学会年会 年会実行委員長:川端 和重 氏(北大) 日時:2014年9月25日～27日 場所:札幌コンベンションセンター</li> <li>・以下の年会の開催準備を行った。 1) 2015年第53回日本生物物理学会年会 年会実行委員長:安藤 敏夫 氏(金沢大) 日時:2015年9月13日～15日 場所:金沢大学角間キャンパス</li> <li>年会案内(A4版・18ページ)を会員に送付した。</li> <li>2) 2016年第54回日本生物物理学会年会 年会実行委員長:豊島 陽子 氏(東大) 日時:2016年11月25日～27日 場所:つくば国際会議場</li> <li>3) 2017年第55回日本生物物理学会年会 年会実行委員長:山縣 ゆり子 氏(熊本大) 日時:検討中 場所:熊本近辺を検討</li> </ul>
2-2-2. 総会ワークショップ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・以下の総会ワークショップを開催した。 第1回会員総会ワークショップ:生物物理が拓く未来社会 日時:2014年9月26日(金)12:35-13:55 会員総会中 場所:札幌コンベンションセンター A会場 形式:講演会 講演者:浅田 稔 氏(阪大)、竹内 昌治 氏(東大)、永井 健治 氏(阪大)</li> </ul>
2-2-3. 各種講演会	52件の講演会の協賛・共催・後援を行った。
2-3. 人材育成(定款第四条第3号関連)	
2-3-1. 男女共同参画・若手支援活動	<ul style="list-style-type: none"> <li>・男女共同参画・若手支援シンポジウム 以下のシンポジウムを実施した。 「男女共同参画・若手支援シンポジウム ワークライフバランスと子育て支援の取り組み」 日時:2014年9月26日11:45～12:35(第52回年会会期中) 話題提供:坂内 博子 氏(名大) グループディスカッションおよび発表</li> <li>以下のシンポジウムの企画・準備を行った。 日時:2015年9月14日を予定(第13回年会会期中)</li> <li>・第11回若手奨励賞選考委員の選出を行った。</li> <li>・若手の会2015夏の学校への資金援助(20万円)を行った。</li> </ul>
2-3-2. 男女共同参画学協会連絡会への参画	<ul style="list-style-type: none"> <li>・男女共同参画学協会連絡会 運営委員会第12期第3回、第4回、第13期第1回、第2回へ出席した(2014年6月24日、8月4日、2015年1月14日、4月27日)。</li> <li>・第12回男女学協会連絡会シンポジウムに参加、ポスター発表を行った。</li> </ul>
2-4. 研究業績と技術的実践の奨励と表彰(定款第四条第4号関連)	
2-4-1. BIOPHYSICS論文賞	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第3回BIOPHYSICS論文賞 12報の推薦論文について審査した結果、以下の1論文を第3回BIOPHYSICS論文賞とし、第52回年会で授賞した。  Akira R. Kinjo, Haruki Nakamura Similarity search for local protein structures at atomic resolution by exploiting a database management system. BIOPHYSICS 3, 75-84 (2007) .</li> <li>・第4回BIOPHYSICS論文賞 12報の推薦論文について、審査を開始した。</li> </ul>

2-4-2. BIOPHYSICS Editors' Choice Award	<p>・以下の2報の論文を第1回Editors' Choice Award受賞論文とし、第52回年会で授賞した。</p> <p>Takahiro Maruta, Takahiro Kobatake, Hiroyuki Okubo, Shigeru Chaen Single turnovers of fluorescent ATP bound to bipolar myosin filament during actin filaments sliding. BIOPHYSICS 9, 13-20 (2013).</p> <p>Yuji Furutani, Tetsunari Kimura, Kido Okamoto Development of a rapid Buffer-exchange system for time-resolved ATR-FTIR spectroscopy with the step-scan mode. BIOPHYSICS 9, 123-129 (2013).</p>
2-5. 関連学術団体との連携及び協力(定款第四条第5号関連)	
2-5-1. 生物科学学会連合への参画	<p>・第10回、第11回定例会議へ出席した(2014年10月11日、2015年3月7日)。</p> <p>・第2回ポストク問題検討委員会へ出席した(2014年7月25日)。</p> <p>・ポストクの雇用促進と研究者教育の改善に関する&lt;重要なお願い&gt;の作成に協力した。</p>
2-5-2. 日本学術会議生物物理学分科会への協力	<p>・基礎生物学委員会・統合生物学委員会合同生物物理分科会および基礎生物学委員会・統合生物学委員会合同IUPAB分科会第22期第6回、第7回、第23期第1回へ出席した。(2014年6月4日、8月29日、2015年1月8日)</p>
2-5-3. 他学会との連携	<p>・日本物理学会、日本顕微鏡学会会員の参加発表奨励による連携強化を行った。</p> <p>・第52回年会において、日本顕微鏡学会との合同シンポジウムを開催した。</p>
2-6. 国際的な研究協力の推進(定款第四条第6号関連)	
2-6-1. IUPAB(国際純粋および応用生物物理学連合)関連	<p>・18th IBC オーストラリア・ブリスベン(2014)への参加喚起(学会ニュース掲載、若手支援プログラム実施)を行った。</p> <p>・20th IBC開催候補地として立候補した。2020IUPAB Congress誘致ワーキンググループを結成し、沖縄を候補地として18th IBCにてプレゼンテーション(Japan Night 2014年8月4日、General Assembly 8月6日)を行った。20thの開催はブラジル(リオデジャネイロ)に譲ることとなったが、21stの開催に引き続き立候補することが決定された。</p> <p>・IUPAB Taskforce Applications of Biophysics として3件の記事を公開した。</p> <p>・18th IBC オーストラリア・ブリスベン(2014)参加報告を行った(生物物理54巻6号)。</p>
2-6-2. ABA(アジア生物物理学連合)関連	<p>・9th ABA symposium中国・杭州(2015)への参加喚起(学会ニュース掲載、若手支援プログラム実施)を行った。</p>
2-7. 普及啓蒙活動	
2-7-1. 女子中高生のための関西科学塾への協力	<p>参加者への景品として、学会クリアファイルを提供した。</p>
2-7-2. 物理チャレンジ・国際物理オリンピックへの協力	<p>学会ウェブサイトニュース欄に実施要項を掲載した。</p>
2-7-3. サイエンス・キャッスル等啓蒙イベントへの出展協力	<p>女子中高生夏の学校(2014年8月)にて、参加者に学会クリアファイル、学会パンフレットを配布した。男女共同参画・若手支援委員の理事2名と若手の会に所属する会員1名がイベントに参加し、参加者への説明を行った。今年度はサイエンス・キャッスルへの参加は見送った。</p>
2-7-4. 公開講座	<p>第52回年会において市民講演会を開催した 日時:2014年9月28日(日) 会場:北海道大学 学術交流会館 大講堂 講演者:難波 啓一 氏(阪大)</p>
2-7-5. 文部科学省科学技術週間 一家に1枚ポスター	<p>文部科学省の平成26年度科学技術週間 一家に1枚ポスター「動く! タンパク質」を第52回年会会場および市民講演会にて配布した。</p> <p>同ポスターの英語版を2000部作成した。9th ABA symposium 事務局に配布を依頼した。</p>
2-7-6. グッズ提供	<p>希望する会員にグッズ提供(クリアファイル・パンフレット)を行った。クリアファイルは今後は有料(1枚50円/税別)で提供することになった。</p>

### 3. 付属明細

(付属明細1) 処務詳細資料

総会・役員会等に関する事項

3-1-1. 総会(開催日)	2014年6月28日(定時社員総会)、9月25日(臨時社員総会)
3-1-2. 会計監査会(開催日)	2014年6月5日
3-1-3. 理事会(開催日)	2014年6月28日、9月25日、27日、12月6日、2015年2月28日、4月11日  メール審議 2014年 5月15日(H27・28代議員候補者推薦の結果の承認) 5月21日(生物物理冊子体(著者への献本、表紙デザイン)の承認) 5月31日(IUPAB2020年招致活動開始の可否について) 6月10日(H26年度第一期事業報告書・決算報告書の承認) 7月15日(IUPAB2020年招致の外部団体への協力要請の承認) 9月14日(生物科学学会連合次期代表選出について) 9月17日(広告募集の案内暫定版の承認) 10月23日(会誌編集委員会規定の変更の承認) 2015年 1月11日(BIOPHYSICS新名称の検討) 1月26日(BIOPHYSICS新名称の承認) 2月5日(BIOPHYSICS新投稿規定の承認) 2月16日(一家に1枚ポスター英語版英訳について) 4月27日(BIOPHYSICS新名称(再検討)の承認)
3-1-4. 委員会(開催日)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・出版委員会 2014年6月28日、12月6日、2015年2月28日、4月11日</li> <li>・男女共同参画若手支援委員会 2014年6月28日、9月26日、12月6日、2015年2月28日、4月11日</li> <li>・会誌編集委員会 2014年6月14日、9月24日、2015年3月1日</li> <li>・BIOPHYSICS編集委員会 2014年9月25日、12月7日</li> <li>・HP編集委員会 2014年9月24日</li> <li>・賞選考委員会(メール審議) 2014年 8月20日(朝日賞) 8月25日(上原賞、井上學術賞) 9月12日(島津賞、木原記念財団學術賞、内藤記念科学振興賞) 9月18日(東レ科学技術賞、東レ科学技術研究助成) 2015年 1月19日(藤原賞) 2月12日(山田科学振興財団研究援助) 2月17日(江崎玲於奈賞)</li> </ul> <p>上記の各賞に候補者を推薦した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ウェブシステム検討ワーキンググループ 2014年5月2日、7月25日</li> <li>・2020IUPAB Congress誘致ワーキンググループ 2014年5月2日、5月20日、6月23日、7月22日、8月3日、8月4日、8月5日</li> <li>・BIOPHYSICS新名称検討ワーキンググループ 2015年4月17日、4月22日</li> </ul>

契約・入札・他に関する事項

・主な新規契約に関する事項

契約年月日	相手方	契約の種類	期間等
2015年4月1日	大阪大学総長	賃貸契約	2015年4月1日～2016年3月31日

・入札に関する事項(なし)

・その他の事項(なし)

(付属明細2)会員の異動状況

会員種別		会員数		増減
		2014年4月30日現在	2015年4月30日現在	
正会員	一般会員	2230	2266	36
	学生会員	774	982	208
	シニア会員	32	35	3
名誉会員		24	23	-1
機関会員		51	50	-1
賛助会員		10	9	-1
総計		3121	3365	244

今期の新規入会者数

一般会員 67名(うち、紹介キャンペーン利用者 0名)

学生会員 304名

(付属明細3)事務局の現況(2015年4月30日現在)

本部事務局	職員1名 アルバイト1名
-------	--------------